



川西中学校だより



【校訓】自主・明朗・節度 令和8年6月5日 第2号

○大きな学年行事をやり遂げました 第3学年 修学旅行



3年 実行委員長 中嶋 蒼介

今回の修学旅行では、自分たちの課題でもある「時間にルーズなところ」を守ることができました。

学んだことは、先を見通して行動することの大切さです。一つ一つの行動が遅れてしまうと、周りに迷惑がかかったり、自分たちの活動時間が減ったりしてしまうからです。班別研修では、初めての電車で計画通りにいかないこともありましたが、臨機応変に対応することができたので良かったです。今回の反省点や良かった点をこれからの学校生活に生かしていきたいです。

第2学年 校外学習



2年 実行委員 前川 心春

私は実行委員として、校外学習に行くまでの準備を頑張りました。特に、出発式・解散式の前稿とバスレクの企画です。

出発式・解散式は去年の前稿を参考に作りました。バスレクは、生徒クイズや先生クイズなど分かりやすい問題を多くしました。

去年は班対抗でのゲームだったけれど、全員が参加できていなかったのを見て、今年は個人戦にしました。

その結果、全員が参加できていて良いバスレクにできたと思います。

第1学年 校外学習

1年 川口 葵

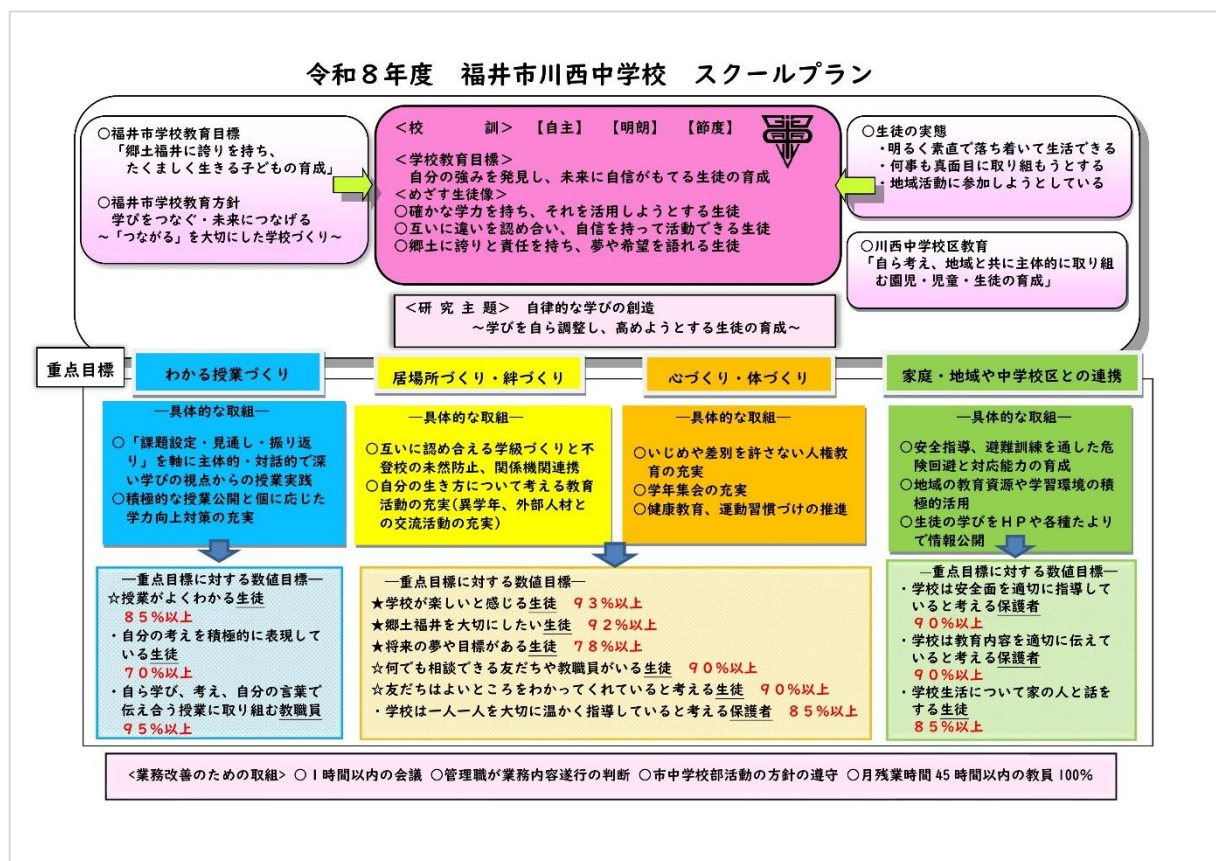
川西地区のウォークラリーをして道を間違えることができましたが、グループで楽しく回ることができました。

知っていることはもう少し深く、まだ知らないところはどのような所かを知ることができました。

水切古墳には、3つも古墳があり、とても大きな古墳だということを改めて感じました。鶉メガファームは初めて近くで見えて大きさに驚きました。杉田定一さんのお墓は、とても高いところにあったのでとても大切にされていることが分かりました。コウノトリの巣塔では、鶉地区ではコウノトリが有名なのでこれからも大切にしていきたいと思いました。



○今年度のスクールプランです



昨年度とほとんど変更点はありませんが、学校教育目標の最後の言葉を少し変更いたしました。「未来に自信がもてる生徒を育てる」を「未来に自信がもてる生徒の育成」としました。「生徒を育てる」という表現は、あくまで教師だけが主語となります。「子どもが主語」「子どもが主役」「教師は子どもに伴走する」と言われるようになりました。川中生のみなさんには、自分、そして自分たちが「主語」「主役」として自分の「未来に自信がもてる生徒」に成長していったほしいと願っています。

【※数値目標 ★→福井市小中学校5年間共通（今年度最終） ☆→本校独自（市教委5年間報告 今年度最終） ・→本校独自】

○宮ノ下地区体育大会に、中学生ボランティアとして参加しました

5月24日（日）に開催された宮ノ下地区体育大会に、6名の生徒が中学生ボランティアとして参加しました。決勝記録係や賞品係などの役割を受け持ち、地域の方々と共に体育大会のスムーズな運営に貢献していました。

部活動の地域展開が進んでいきますが、部活動だけでなく、中学生パワーを地域の様々な活動に生かし、イベントへの貢献だけでなくイベント準備への参画も担えるようになってほしいと思っています。

